

第5回 我孫子市放射線対策会議 会議概要

【場 所】 市長応接室

【日 時】 平成23年8月22日（月）16:30～18:30

【出席者】 市長、副市長、教育長、水道局長、企画財政部長、市民生活部長、健康福祉部長、子ども部長、環境経済部長、都市部長、消防長、教育総務部長、学校教育課長、公園緑地課長、保育課長、農政課長、文化スポーツ課長、健康づくり支援課長、高齢者支援課長、障害福祉支援課長、放射能対策室長

（報告事項）

（1）積算線量計の測定結果について

（保育課）

- ・ つくし野保育園は他の保育園と比べて高めの積算量であった。

（放射線量の測定結果について）

（保育課）

- ・ 並木保育園の園庭のデコボコを整地する工事を8月6日、7日に実施、砂場の砂の入れ替えも行った。砂場は毎時0.24マイクロシーベルト→毎時0.17マイクロシーベルトに減少。
- ・ 市立保育園では除去した砂を埋めるための穴を掘削。並木保育園では1.8メートル掘った下の土は毎時0.09マイクロシーベルト、湖北台保育園では1.5メートル掘った下の土が毎時0.04マイクロシーベルトだった。
- ・ めばえ幼稚園、アンジェリカ保育園が高いため、砂場の砂の入れ替え等を指導する。

（学校教育課）

- ・ 並木小学校の測定値は高いままでなかなか下がらない。白山中も校庭の表土の除去を行ったにもかかわらず、高いままである。今後の対応を考えなくてはならない。

（公園緑地課）

- ・ つくし野4号公園では、地域の祭りの実施に伴って地面のデコボコを整地するために砂をまいており、5センチメートルで0.17マイクロシーベルトまで下がった。
- ・ 我孫子駅南口東公園、天王台西公園、柴崎台中央公園はほとんど変化がなかった。
- ・ 毎回同じ場所で測定しているが、以前は草地であったが草が剥げてしまったところがあり、その影響で測定値が上がる場合がある。

（健康福祉部）

- ・ 西部福祉センターが5センチメートルで毎時0.52マイクロシーベルトと高い値だが、測定後の大雨で流れている可能性もあるので再測定をする。

（文化・スポーツ課）

- ・ 五本松公園運動広場を、幼稚園などの運動会会場に使用されるとのことで、父兄からの依頼を受けて測定を行った。
- ・ 五本松公園のみどりの広場が一番高い値となっている。

(除染について)

- ・ 耐震工事を行っている湖北中と湖北小を除く 17 校の砂場の入れ替え費用は 920 万となり、耐震工事後に残り 2 校を実施すると 1,000 万円を超える。
- ・ 市立保育園では 7 園で 200 万くらいかかる。
- ・ 野田市では放射線量の高い場所には看板をたて、放射線量をお知らせしている。公園についてはそのような方法もある。
- ・ 公園は数が多いので除染に関して方針を定める必要があり、一定の数値以上の公園を対象に除染作業を進める。
- ・ 天王台西公園、柴崎台中央公園をテストケースとして除染作業の検討を進めている。天王台西公園では、土の部分の削り取りを考えている。柴崎台中央公園では中央部の放射線量が高いため、中央部の草地を天地返しする。
- ・ 除染作業を行うのであれば、ホームページ等で PR するべき。

(米の放射能検査について)

- ・ 8 月 21 日に予備調査の結果が公表され、調査した 4 か所すべてで放射性物質は検出されなかった。
- ・ 本調査は予備調査と同じ水田で実施する。

(決定事項)

(2) 自治会の放射線測定要望への対応について

- ・ 対象は市内の自治会で、時間は 1 時間以内。1メートル・50センチメートル・5センチメートルすべてを測定すると 6 日所程度となる。測定場所は公園や道路等、市の施設と市長が必要と認めた場所。
- ・ 再申請の基準に関しては今後検討する。
- ・ 測定業務の頻度は週 1 回程度。
- ・ 広報の 9 月 1 日号に掲載し、同日から施行する予定。
- ・ 手賀沼課だけでは対応しきれないので、他の課にも協力をお願いしたい。

(3) 放射能対策に関する我孫子市の基本的な考え方について

- ・ 公園に関しては当面、毎時 0.4 マイクロシーベルト以上かつ利用頻度の高い公園から除染作業を進めていく予定。

(その他)

- ・ 今回まで報告の際に使用する表は各課独自で作成していたが、今後は統一する。